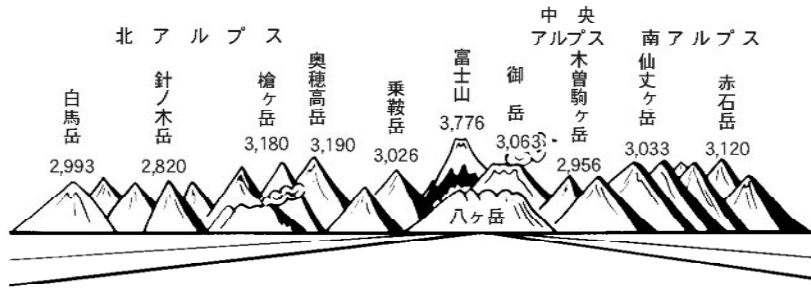


第 42 号

平成20年5月



長野県砂防課のマスコット
“サー坊”

砂防ニュースレター“長野”

第26回 全国大会

平成
20
年度

土砂災害防止推進の集い

皆様の参加をお待ちしています。



6月4日(水) 13:00~16:50

会場/長野県松本文化会館

主催/国土交通省・長野県 協力/松本市

目 次

全国治水砂防促進大会開催・要望活動	2
砂防関係施設等現地見学会	2
土砂災害防止推進の集い in 松本	3
土砂災害警戒情報の検証	4
県内の土砂災害警戒区域等の指定状況	5
「長野県の砂防」パンフレット刊行	6
地すべり学会中部支部	
シンポジウム開催	7
第15回環境砂防会議開催	8
平成20年度砂防関係予算	8
砂防および地すべり防止講習会報告	9
上の原工事完成記念植樹式	10
「土砂災害防止に関する 絵画、ポスター、作文」	
作文の部、砂防部長受賞	11
平成20年4月の事異動について	12
行事経過・予定	12

砂防事業キャッチフレーズ

今、日本の屋根長野から新・砂防の発進を

全国治水砂防促進大会開催・要望活動

平成20年度砂防関係予算の確保に向け、「全国治水砂防促進大会」が平成19年11月27日に砂防館（東京都千代田区）で開催されました。当日は、全国から1,147名が参集し、本県からは、中村会長をはじめ73名の会員に御出席をいただきました。

大会に先だち、毎日放送ラジオ局報道部大牟田智佐子副部長より「ラジオの報道～阪神・淡路大震災の経験から」と題して特別講演が行われました。

大会は、綿貫全国治水砂防協会長の挨拶に始まり、冬柴国土交通大臣より祝辞がありました。

次に国土交通省の亀江砂防部長から「砂防行政の動向について」と題して、国における



砂防事業への取り組みや今後の在り方についての講演がありました。また、会員代表の群馬県新井藤岡市長と鳥取県小林若桜町長から意見発表が行われ、小林副会長が「提言（案）」を発表し、満場一致で裁決されました。

大会終了後、本年度も役員・関係者により県選出国會議員及び財務省・国土交通省に対し要望活動を行いました。



砂防関係施設等現地見学会

この見学会は、地域の皆さんに砂防関係現場の見学を通して事業に対する理解と関心を深めていただくため、平成6年度から長野県治水砂防協会の補助を受けて実施しているものです。今年度は11の建設・砂防事務所で開催し、子供たちや住民の皆さんを中心に400名を越える方に参加していただきました。

砂防事業の現場を通して、土砂災害から生命・財産を守ることの大切さを理解し、地域の防災意識を高め、砂防事業に取り組んでいる人のことを知っていただく現地見学会です。

「本物を間近で見れて、詳しく話しが聞けてよかった。」「災害を防ぐものを見て、安心できた。もっと色々な災害を防ぐ物を見てみたい。」「知らないところで僕達の生活を土砂災害から守ってくれるんだなーと思いました。」と小学生の意見。また、「自然の力の大きさを知ると同時に山の整備の必要性や復旧工事の大変さ、必要性が分かった。」「崩壊現場をこの目で見て、災害の恐ろしさを実感した。」「災害復旧工事が思いのほか進んでいて安心した。」と参加住民の意見もありました。これらの意見も参考にしながら、よりよい砂防事業にしていきたいと思えます。

今後も、この見学会は開催していく予定ですので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

平成19年度砂防施設等現地見学会実施結果

事務所	参加者	人数	実施日	見学内容
千 曲	千曲市立上山田小学校・千曲市住民	52	6月11日	城腰砂防えん堤、崩壊危険区域の法枠工
伊 那	辰野町住民	52	6月21日	沢底川右支川、雨沢川砂防事業、小野中村急傾斜崩壊
諏 訪	岡谷市立湊小学校5年生	33	7月12日	小田井沢川、八重場沢川砂防事業
中 野	山ノ内町立南小学校4年生	42	9月27日	伊沢川昔砂防えん堤、夜間瀬川越
飯 田	高森町住民	39	10月11日	大島川砂防えん堤工事
須 坂	須坂市立森上小学校4年生	73	10月31日	灰野砂防えん堤
犀 川	麻績村立麻績小学校5年生	26	10月31日	芦沢川歴史的砂防施設、上手山災害復旧工事
土 屋	長野市立篠ノ井西小学校4年生	31	11月13日	地すべり対策事業、長野市茶白山、地附山
木 曾	大桑村立大桑小学校6年生	40	11月20日	浦川、越百川砂防事業
飯 山	栄村立東部小学校3年生	15	11月22日	坪野砂防えん堤、志久見急傾斜地、青倉雪崩防護補工
長 野	長野市立松ヶ丘小学校5年生	30	12月6日	権現沢の砂防事業

平成20年度（第26回） 土砂災害防止推進の集い（全国大会）開催のご案内

来る6月4日～5日、平成20年度土砂災害防止推進の集い（全国大会）が、松本市の松本文化会館において、国土交通省と長野県の主催で開催されます。

土砂災害防止推進の集い（全国大会）は、昭和57年長崎の集中豪雨災害をきっかけに、毎年6月を土砂災害防止月間と位置づけ、その中心的な行事として始まりました。昭和58年に長崎県で第1回大会が開催されてから、今年の長野県開催で26回目となります。

長野県は、過去数多くの土砂災害を被り、土砂災害と闘ってきた長い歴史があります。しかしながら、平成18年7月豪雨災害にみられるように依然として土砂災害の危険性は県内各地に多数あります。こうした中であって、砂防えん堤等が整備されているところでは、砂防関係施設が効果を発揮し土砂災害の減災が図られています。本大会では、全国の状況を踏まえつつ長野県の砂防の歴史を振り返りながら、砂防の必要性と今後の砂防の展開について住民の理解を深めることを目的とし、「砂防の歴史と今、そして明日（これから）」をテーマに、減災に役立つ情報を全国に発信します。

全国の関係者はもちろん、県内の方に幅広く参加していただきたいと考えています。周囲の方をお誘いいただき、多くのご来場をお願いいたします。

【日 程】

■平成20年6月4日（水） 松本文化会館 13：30～16：50

「土砂災害防止推進の集い（全国大会）」

- 1) 式典
- 2) 歴史的砂防施設を学び伝える活動紹介
- 3) シンポジウム

■平成20年6月5日（木）

「現地研修会」（右図参照）

Aコース

梓川上流の砂防

Bコース

平成18年7月豪雨
からの復旧状況

Cコース

歴史的砂防施設
（牛伏川、蜂ヶ沢）



着色箇所は見学箇所を含む6市町村（松本市・安曇野市・岡谷市・諏訪市・下諏訪町・波田町）を示したものです。

【出演者】

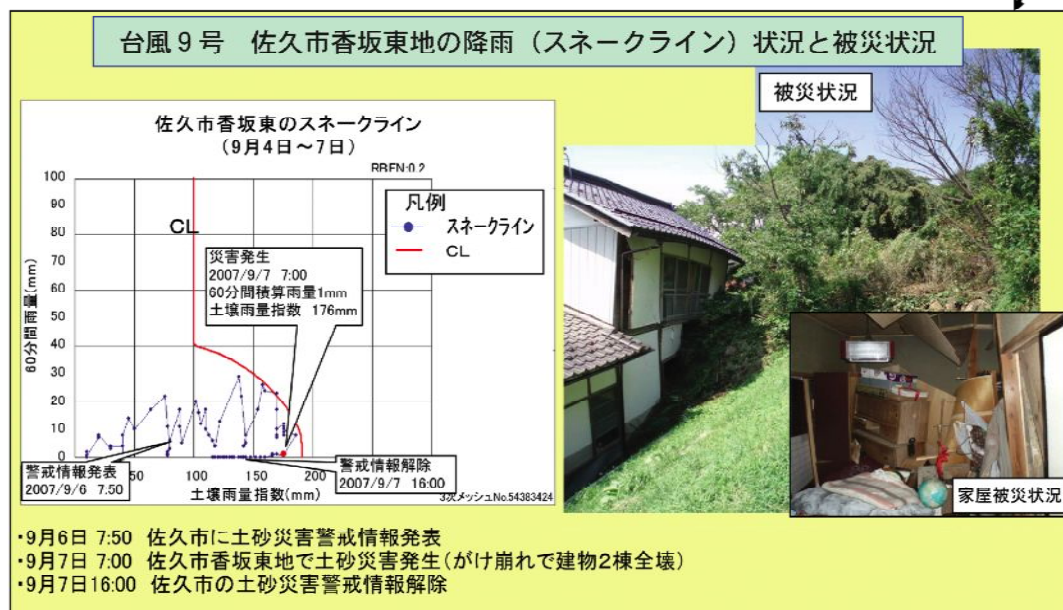
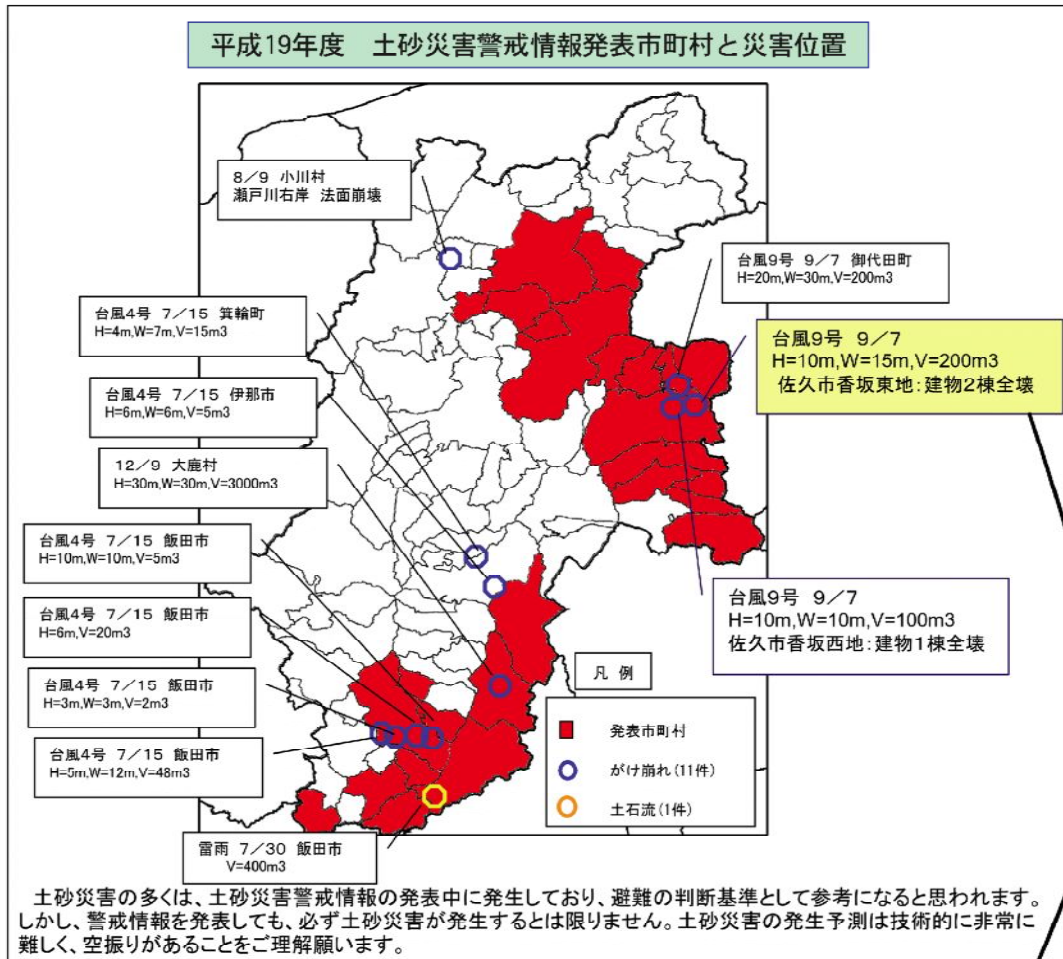
古林徳文氏（稲丘東地区 薬師沢砂防惣代長）・加藤輝和氏（牛伏鉢伏友の会代表）
山崎登氏（NHK解説主幹）・北澤秋司氏（信州大学名誉教授）・林新一郎氏（前岡谷市長）
藤澤繁雄氏（NPO法人梓川流域を守る会理事長）・斉藤千恵子氏（塩尻市奈良井女性消防隊長）
亀江幸二氏（国土交通省砂防部長）

大会に関する詳細および最新情報は長野県建設部砂防課のホームページにも掲載しています。

(<http://www.pref.nagano.jp/doboku/sabo/kashokai.htm>)

平成19年度 土砂災害警戒情報の検証

- ・土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、市町村長が防災活動や避難勧告を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難等の判断に活用して頂くことを目的としています。
- ・長野県では、昨年6月から運用を開始し、昨年は台風4号などで、4回のべ26市町村に発表しています。



県内の土砂災害警戒区域等の指定状況

(平成20年4月1日現在)

事務所名	市 町 村 名	土 石 流		地 滑 り		急傾斜地の崩壊		告 示 年 月 日
		警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	
南佐久	南佐久郡小海町	63箇所	54箇所			173箇所	150箇所	平成19年 9月27日
	佐久穂町 (佐久町・八千穂)	96箇所	81箇所			61箇所	156箇所	平成20年 3月31日
佐 久	小諸市	8箇所	3箇所					平成19年 9月27日
	佐久市	38箇所	33箇所			15箇所	13箇所	平成20年 3月31日
	佐久市 (白田・望月)	206箇所	185箇所			167箇所	151箇所	平成19年 1月29日
上 田	上田市 (丸子)	88箇所	84箇所			68箇所	64箇所	平成18年 6月12日
	東御市	39箇所	35箇所			154箇所	126箇所	平成19年 9月27日
諏 訪	岡谷市	110箇所	76箇所					平成20年 3月24日
	諏訪市	90箇所	86箇所			164箇所	149箇所	平成18年 3月30日 ※1
伊 那	伊那市 (西箕輪)	27箇所	26箇所					平成18年 9月25日 ※2
	辰野町	86箇所	76箇所			115箇所	111箇所	平成20年 3月27日
		2箇所	2箇所					平成20年 3月27日 ※9
	上伊那郡南箕輪村	6箇所	5箇所					平成17年 8月11日 ※3
				4箇所		57箇所	46箇所	平成19年 9月27日
	上伊那郡飯島町	22箇所	15箇所					平成17年12月26日
10箇所		7箇所			52箇所	46箇所	平成19年 3月29日 ※4	
飯 田	飯田市	24箇所	10箇所			141箇所	111箇所	平成20年 3月31日 ※11
	飯田市 (上村・南信濃)	50箇所	30箇所	85箇所				平成19年12月27日
	下伊那郡高森町	26箇所	19箇所			115箇所	112箇所	平成19年 1月18日
	下伊那郡天龍村	35箇所	28箇所	78箇所				平成20年 1月31日
	下伊那郡泰阜村	22箇所	18箇所					平成17年 3月31日
	下伊那郡喬木村	41箇所	21箇所			103箇所	90箇所	平成18年 3月30日
	下伊那郡大鹿村	39箇所	27箇所			182箇所	161箇所	平成18年 1月30日
木 曾	木曾郡上松町	91箇所	84箇所			246箇所	223箇所	平成20年 3月27日
	木曾郡大桑村	81箇所	67箇所			109箇所	103箇所	平成18年11月16日
松 本	松本市	23箇所	22箇所			133箇所	111箇所	平成19年 9月18日
		42箇所	33箇所			110箇所	109箇所	平成19年 3月29日
		13箇所	13箇所			110箇所	103箇所	平成20年 1月31日 ※8
	塩尻市	67箇所	57箇所			45箇所	44箇所	平成20年 3月31日
		36箇所	29箇所			154箇所	145箇所	平成19年 9月27日
	東筑摩郡山形村	24箇所	22箇所			89箇所	76箇所	平成19年12月27日
	東筑摩郡朝日村	31箇所	27箇所			57箇所	57箇所	平成18年 6月29日
安曇野	安曇野市 (豊科)	12箇所	11箇所			48箇所	48箇所	平成17年12月26日
	安曇野市 (穂高)	28箇所	26箇所			67箇所	64箇所	平成18年 6月29日
	安曇野市 (堀金)	11箇所	10箇所			15箇所	13箇所	平成19年 3月29日
	安曇野市 (三郷)	17箇所	15箇所			32箇所	32箇所	平成19年 4月23日
大 町	大町市	142箇所	136箇所			32箇所	32箇所	平成20年 3月27日
千 曲	千曲市 (上山田)	15箇所	9箇所			182箇所	179箇所	平成18年 3月30日
	千曲市 (戸倉・更埴)	70箇所	56箇所			28箇所	22箇所	平成19年 5月10日
須 坂	上高井郡小布施町	6箇所	6箇所			105箇所	102箇所	平成20年 3月27日
	上高井郡 高山村	22箇所	21箇所					平成18年 3月13日
	上高井郡 高山村			17箇所		102箇所	54箇所	平成19年 3月19日
中 野	中野市	33箇所	31箇所					平成18年12月28日
	中野市 (豊田)	21箇所	17箇所			45箇所	45箇所	平成18年12月28日
	中野市 (豊田)	29箇所	25箇所			72箇所	57箇所	平成19年10月29日
長 野	長野市 (安茂里)	16箇所	12箇所			80箇所	74箇所	平成20年 3月31日 ※10
	長野市 (若穂・松代)	106箇所	93箇所			59箇所	44箇所	平成19年 3月15日
	上水内郡飯綱町	15箇所	10箇所			133箇所	125箇所	平成20年 3月31日
		33箇所	30箇所	25箇所		21箇所	17箇所	平成19年 3月 8日 ※5
					73箇所	72箇所	平成20年 1月21日	

(平成20年4月1日現在)

事務所名	市 町 村 名	十 石 流		地 滑 り		急傾斜地の崩壊		告 示 年 月 日	
		警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域		
飯 山	木島平村	34箇所	34箇所			34箇所	31箇所	平成20年 3月27日	
犀 川	大町市 (八坂)	15箇所	13箇所			140箇所	112箇所	平成19年 3月29日	
	安曇野市 (明科)	53箇所	45箇所			79箇所	76箇所	平成18年10月16日	
	東筑摩郡麻績村	48箇所	39箇所			43箇所	43箇所	平成19年 3月29日	
姫 川	北安曇郡白馬村	79箇所	56箇所					平成16年12月 6日	
						166箇所	154箇所	平成17年12月26日 ※6	
	北安曇郡小谷村	66箇所	29箇所			221箇所	195箇所	平成18年11月30日 ※7	
土 尻 川	長野市 (小田切・七二会)	7箇所	2箇所			209箇所	150箇所	平成19年 3月22日	
	大町市 (美麻)	35箇所	30箇所			163箇所	153箇所	平成17年12月26日	
				48箇所				平成20年 3月31日	
	上水内郡信州新町	6箇所	2箇所			146箇所	86箇所	平成19年 9月27日	
			2箇所	2箇所			56箇所	46箇所	平成20年 3月31日
	上水内郡小川村	30箇所	30箇所			188箇所	142箇所	平成19年 3月29日	
		5箇所	5箇所			82箇所	68箇所	平成20年 3月24日	
計		2,492箇所	2,070箇所	257箇所	0箇所	5,309箇所	4,661箇所		

総 合 計	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	市 町 村 数
	8,058箇所	6,731箇所	42市町村

※1 茅野市、下諏訪町及び辰野町の一部含む ※2 箕輪町及び南箕輪村の一部含む ※3 伊那市の一部含む ※4 駒ヶ根市の一部含む
 ※5 長野市の一部含む ※6 小谷村の一部含む ※7 白馬村の一部含む ※8 塩尻市の一部含む ※9 塩尻市の一部含む
 ※10 飯綱町、飯山市の一部を含む ※11 高森町の一部を含む

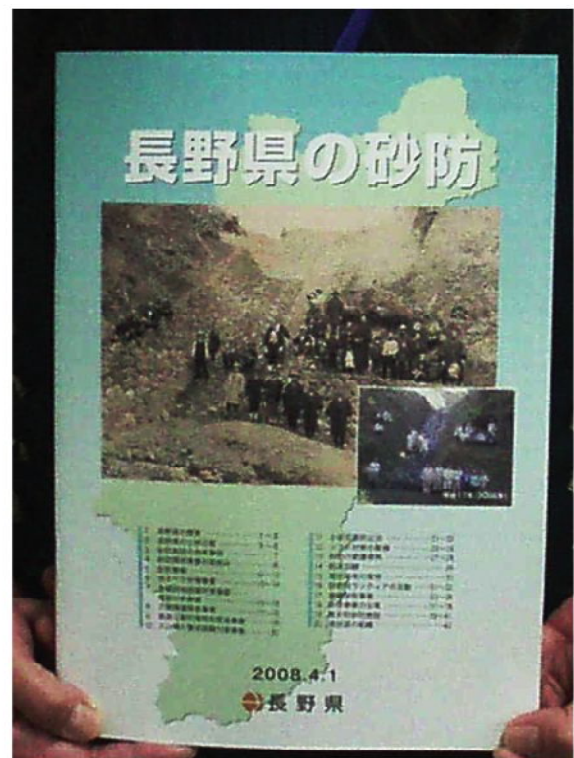
『長野県の砂防2008』冊子を作成しました。

「長野県の砂防」冊子は、長野県の砂防概要を過去20数年にわたり、およそ3年毎に更新してきましたが、平成13年（2001年）以降は更新されていなかったため、この度平成20年（2008年）版を作成しました。

長野県の砂防の魅力を全国に発信し、今後の業務の参考にご活用頂ければと関係機関等に配布しているところ です。

ぜひご一読頂ければ幸いです。

- ・表紙、裏紙含めてカラー44ページ
- ・表紙の写真は、小川村の薬師沢の今昔を対比した写真です。薬師沢周辺は明治18年砂防惣代を選出し、当時の内務省に砂防工事の請願を行い、翌19年に直轄砂防事業が着手されました。砂防惣代は、現在に至るまで120年以上にわたり代々受け継がれ、自発的な維持管理は今日も行われています。



平成19年度 (社)日本地すべり学会中部支部シンポジウム開催される

平成20年2月5日（火）長野市において（社）地すべり学会中部支部主催による「地すべり災害とその後の対応」をテーマにシンポジウムが開催されました。当日は官公庁、民間、一般の方々を含めて約150名の参加があり、参加者は、基調講演、事例紹介等に熱心に耳を傾けました。

シンポジウムでは、藤田壽雄氏（元（社）日本地すべり学会会長）による「地すべり防止対策の現状と今後の課題」と題して基調講演が行われました。基調講演では、全国の大規模地すべりや特異な地すべりについて、長年、研究・設計助言されてきた経験をふまえたものであり、特に複雑な動きと施工アンカーの挙動を分析しながら対策を進めた事例と大規模地すべり地における地すべり運動の判定事例については、貴重なデータあり、現場に携わる技術者には大変参考になりました。



藤田壽雄氏の基調講演
(元(社)日本地すべり学会会長)



綱川浩章課長補佐の報告

また、国土交通省砂防部保全課の綱川浩章課長補佐より、平成19年度に発生した全国の主な地すべり災害について、被災状況写真等により報告が行われ、近年の災害発生状況の特徴等をわかりやすく説明していただきました。

さらに、支部管内各県（静岡県、富山県、石川県、三重県、長野県）の代表的な地すべり災害の対応状況について事例紹介をいただきました。事例紹介では近年発生した地すべりの発生直後の対応、恒久対策工事の状況、対策後の状況等について詳細な説明がありました。

近年、災害が多発するなか、今回のシンポジウムは有意義なものとなりました。

最後に、多くの方々の参加をいただき、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。



会場内の状況



事例紹介の様子

第15回 環 境 砂 防 会 議

平成20年1月31日(木)、長野県林業センターにおいて、環境砂防会議（長野県砂防課、長野県治水砂防協会共催）が、開催されました。環境砂防会議は、環境に配慮した砂防事業に取り組むため、平成3年度から開催されており、今年度で15回目を迎えました。

今年度の事例発表としては、新たな景観形成や憩いの場の創出を地元と一体となって取り組んだ斜面整備のプロセス等の紹介、施工箇所に繁茂した外来植物の除去への取り組み状況や今後の課題等の紹介、鳥居川における近自然工法の試みとその効果を検証し技術者として創意工夫した取り組み事例の発表がありました。

また、環境保全研究所堀田昌伸研究員からは「長野県の希少猛きん類：その生態と保護管理について」と題してご講演を賜りました。

講演では、県内に生息する希少猛きん類の紹介、「ハチクマ」「イヌワシ」の生態や特徴、また現在研究を進めている希少猛きん類の「データベース」等について、わかりやすくお話されました。

この講演には、県職員、市町村職員等72名の方々にご出席いただき、最後まで熱心に受講されました。



講演の様子

【事例発表】

- 「地元と一体となった斜面整備」 ■中野建設事務所 主査 坂口一俊
- 「外来植物の対策について」 ■千曲建設事務所 技師 浅野弘貴
- 「生態系に配慮した砂防事業について」 ■砂防課 主査 小山栄樹

【講演】

- 「長野県の希少猛きん類
その生態と保護管理について」 ■環境保全研究所 研究員 堀田昌伸

平成20年度 砂 防 関 係 予 算

平成20年度の本県砂防関係事業の当初予算は、公共事業費が112億円弱で対前年比1.19、県単事業が6億円弱で対前年比0.86となっており、災害関連事業を加えた全体事業費は約124億円強で、対前年比1.13となっております。

平成20年度砂防関係予算

(単位：千円)

事 業 名	平成20年度 当初県予算(A)	平成19年度 当初県予算(B)	対前年 当初比(A)/(B)
●砂防総務費	387,144	380,175	1.02
●補助事業			
□砂防費	7,576,000	5,703,000	1.33
□地すべり対策費	2,047,000	2,110,000	0.97
□急傾斜地崩壊対策費	1,551,474	1,599,000	0.97
小 計	11,174,474	9,412,000	1.19
●災害関連緊急砂防等事業			
□砂防費	72,000	120,000	0.6
□地すべり対策費	120,000	316,200	0.38
□急傾斜地崩壊対策費	24,000	41,000	0.59
小 計	216,000	477,200	0.45
●県単事業費			
□砂防費	328,100	382,193	0.86
□地すべり対策費	100,200	140,748	0.71
□急傾斜地崩壊対策費	168,558	170,568	0.99
小 計	596,858	693,509	0.86
●砂防受託費	30,000	10,000	3
計	12,404,476	10,972,884	1.13

砂防および地すべり防止講習会報告

(社)全国治水砂防協会主催のもと、平成20年3月13日、14日の2日間にわたり、第48回砂防および地すべり防止講習会が東京都千代田区平河町砂防会館において盛大に開催されました。

主催者挨拶では、大久保理事長より「あらかじめ地域を安全にしておくための砂防事業への必要な投資は基本であるが、限られた予算を効率的に使う工夫が一層求められる。

また、地球温暖化による土砂流出の態様は変化し、土砂災害も多様かつ激甚化してくることが予想される。このような変化に対応できるような準備を進め、実行していかなければならない。」と挨拶されました。

引き続き、砂防の創始者赤木正雄先生の遺業を

偲び創設された赤木賞の第35回授与式が執り行われ、土砂災害の防止・軽減技術の確立に対する功績が認められた高橋保氏（京都大学名誉教授）が受賞されました。

特別講演では、今回赤木賞の受賞者である高橋保氏から「私の土砂流研究」と題し、氏の研究面はもとより、長年を投じた砂防学への思いが伝わる講話を拝聴しました。

講習会では、亀江幸二国土交通省砂防部長をはじめ11人の講師の皆様から、砂防行政、林野行政、労働災害、土砂災害の経験談など、多種多様な講義を賜りました。

当協会からは25名が参加し、今後の土砂災害対策に活かされることと多いに期待されます。



主催者あいさつ（大久保 理事長）



特別講演（高橋保 京都大学名誉教授）



亀江幸二 国土交通省砂防部長の講義



岡本正男 全国治水砂防協会常務理事の講義

岡谷市 上の原 工事完成記念植樹式

平成20年3月14日(金)、岡谷市上の原において、平成18年7月豪雨災害対策工事の完成記念植樹式(岡谷市横川区主催)が行われました。

平成18年7月豪雨は県内各地に甚大な被害をもたらしましたが、岡谷市上の原においても、小学校等に土石流が流れ込み、幸いにも人的被害は避けられたものの、体育館などに大きな被害を受けました。

こうした中、下流域の安全を確保するため、長野県では、被災直後より砂防及び治山工事を実施して参りましたが、平成20年3月に工事完成の運びとなりました。

式典では、「災害伝承パネル」の除幕や完成記念植樹が行われ、工事の完成を祝うと共に、今後の地域の安全を祈願いたしました。



上の原小学校体育館に流入した土砂



「災害伝承パネル」除幕式の状況



植樹を行う上の原小学校の児童

○工事の概要

【砂防事業】

事業名：平成18年度国補災害関連緊急砂防事業
平成19年度国補砂防激甚災害対策特別緊急事業
工事概要：砂防えん堤工(H=6.5m)1基 床固工2基
沈砂土工1基 等
工期：平成18年12月～平成20年3月
事業費：約220百万円

【治山事業】

事業名：平成18年度災害関連緊急治山事業
工事概要：山腹工A=0.18ha 鋼製土留工3基
水路工L=71m
工期：平成18年12月～平成19年5月
事業費：約17百万円



完成した施設の状況

「土砂災害防止に関する絵画、ポスター、作文」作文の部受賞



『大鹿村では』

大鹿村立大鹿中学校 一年 田島智子

私の住んでいる大鹿村では、昭和三十六年六月二十九日に三六災害という大きな災害がありました。その時、私の家はお寺なので、避難場所になっていたそうです。

大西山という山が崩れる何日か前から、ものすごい大雨が続いていて避難命令が出されたそうです。その時も避難してきた方がたくさんいたそうです。一日か二日たつと、雨がやんで青空が見えたので、避難してきた方たちは、自分の家を見に帰ったそうです。学校の先生をしていた祖父も学校へ行ったそうです。しばらくすると、ものすごく大きな音がして大西山が大崩壊したそうです。祖父や、家を見に帰った方は、逃げてきたそうですが突然の事で、亡くなった方もいるそうです。

まだ小さかった私のおばさんが大西山のほうを見ると、土砂の中に家が浮いていたそうです。

泥だらけの人、けがをして血を流している人がたくさん避難してきたそうです。水も電気も使えなかったそうです。なので泥だらけの人には、お風呂にはってあった水で顔を洗ってもらったそうです。けが人もたくさんいたので病院の先生が来て手当てをしてくれて、病院に行かないと手当てができないくらいのけがをしている人は、雨戸を担架にして運んだそうです。

祖母が、避難してきた方たちの手当てなどをしている時、おばさんは、子どもが死んだと何度も言いながら歩いてくる女の人を見たそうです。泥まみれで本当にかわいそうだったと言っていました。

学校の体育館の中まで土砂が流れこんで、学校周辺

の河原は、土砂で湖のようになっていたそうです。それほどの大きな災害だったので復興も大変だったそうです。いろいろな建設会社の人が、川の土砂をどかし、道の土砂をどかしてくれたそうです。家が流されたり、こわれてしまった人もたくさんいたので仮設住宅も作ってくれたそうです。

岩がゴロゴロしているだけの大西山に、桜を植える人もでてきて、大鹿村は、だんだん復興してきたそうです。

三六災害では、死者と、行方不明者を合わせると、大鹿村だけで五十五名、伊那谷全体では、百三十名ほどだそうです。これだけの犠牲者を出した災害があったので今、大鹿村では、災害防止の活動がたくさん行われています。まず工事が行われています。川の流れをゆるやかにする工事、護岸工事が行われています。川の流れをゆるやかにして、護岸工事をする、河岸がくずれにくくなるそうです。山のくずれそうな土を取りのぞいたり、水の通り道を作ることも行っているそうです。

それから、植林が行われています。木を植えることで岩の亀裂にまで根が入り込んでしっかりと固定され、山が崩れにくくなるそうです。

実際に三六災害を体験した祖母や、叔母に話を聞いたり、資料を見たりして、災害の怖さを初めて感じました。

火事や、地震は、なんとなくなじみがあります。でも、土砂災害は、あまりなじみがありません。火事も、地震も、土砂災害もいつどこで起こるかかわからないけれど、今まで土砂災害を怖いと感じたことがありませんでした。大西山が崩れた時のように、晴れていても災害は起こるということを初めて知りました。天気に関係なく、いつ起こるかかわからない土砂災害は、怖いと感じました。

いつ起こるかかわからないから、「防止」がすごく大切だということも感じました。大鹿村でたくさん行われている災害防止対策の大切さがわかったような気がします。

大西山には、山肌が見えているところがあつたり、大西山の近くにある大西公園には、三六災害の時の土砂をそのままにしてある所があります。いろいろな人に三六災害のことを知ってもらって、忘れてほしくないからだと思います。私は、三六災害について、初めて知ったことがたくさんあります。そのことを忘れないようにしたいです。大鹿村では、三六災害という大きな災害があったということを忘れないようにすることが、私にできることだと思います。

平成20年4月長野県建設部砂防課・人事異動について

◎転入者

砂防課企画幹兼地すべり係長へ
 戸谷 勝彦（政策評価課主任企画員）
 砂防課総務係へ
 新倉 宏志（上伊那地方事務所地域政策課）
 砂防課調査管理係長へ
 藤木 济（諏訪建設事務所整備第一係長）
 砂防課調査管理係へ
 下田 達也（中野建設事務所北信新幹線事務所）
 砂防課調査係へ
 玉川 博之（伊那建設事務所整備課）
 砂防課砂防係へ
 宮下 覚（飯田建設事務所整備課）
 砂防課砂防係へ
 池田 誠（姫川砂防事務所砂防課）
 砂防課地すべり係担当係長へ
 坂口 一俊（中野建設事務所整備課）

◎転出者

姫川砂防事務所長へ
 松本 久志（砂防課技術幹兼地すべり係長）
 検査課主任工事検査員へ
 野本 幸男（砂防課課長補佐兼調査管理係長）
 木曾建設事務所用地課担当係長へ
 宮沢 高男（砂防課総務係）
 飯田建設事務所整備課整備第三係長へ
 大月 哲也（砂防課調査管理係）
 企画課土地対策室土地調整係へ
 木下 弘志（砂防課調査管理係）
 上田建設事務所整備課整備第二係へ
 大澤 和幸（砂防課砂防係）
 安曇野建設事務所整備課計画調査係へ
 小山 栄樹（砂防課砂防係）
 上田建設事務所整備課計画調査係長へ
 荻原 公寿（砂防課地すべり係企画員）

行事経過・予定

20年

1月31日	第15回環境砂防会議	長野市：林業センター
2月5日	地すべり学会中部支部シンポジウム	長野市：ホテルメトロポリタン長野
3月13・14日	第48回砂防および地すべり防止講習会	東京都：砂防会館別館
5月9日	地すべり学会中部支部総会	長野市：サンパルテ山王
5月14～16日	砂防学会通常総会、講演会	北海道：道立道民活動センター
5月20日	全国治水砂防協会評議員会	東京都：砂防会館別館
"	" 賛助会員情報連絡会議	
5月21日	第72回全国治水砂防協会総会	東京都：砂防会館別館
"	県治水砂防協会砂防講演会	東京都：砂防会館別館
5月22日	砂防ボランティア協会、総会	長野市：トイゴ
6月1～30日	土砂災害防止月間	
6月4～5日	平成20年度土砂災害防止推進の集い（全国大会）	長野県：松本文化会館
7月23日	県治水砂防協会監査・理事会	長野市：サンパルテ山王
8月6日	第70回長野県治水砂防協会通常総会	長野市：ホテルメトロポリタン長野
10月7日	第2回防災担当者のための土砂災害防止実務講習会	東京都：砂防会館別館
11月26日	全国治水砂防協会参与会	東京都：砂防会館別館
"	" 賛助会員情報連絡会議	
11月27日	全国砂防促進大会	東京都：砂防会館別館
"	県治水砂防協会要望活動	東京都：衆・参議員会館、財務省、国土交通省

《トピックス》

平成20年4月から土木部が建設部に変更になりました。課内も若干ですが、北へ移動しました。（チョット狭くなったようです。）これまで同様、お気軽にお立ち寄り下さい。

●第42号 発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野幅下692-2 長野県建設部砂防課内